**◎本町農業の現状と課題**

**資料１**

**◇経営部会◇**

**検討項目１　畑作、野菜経営の支援（補助事業、利子補給、国際情勢への対応など）**

　現　状

　　○ＴＰＰ等による国際情勢の変化、高齢化等による労働力不足・担い手の確保、導入作物の選定、施設整備・機械の導入及び更新など畑作、野菜経営を取り巻く課題は多く、対応策の検討が必要となっている。

　課題等

　　（１）課題　国等の補助事業の活用、資金借り入れに伴う利子補給等支援の検討

　　　【理由】

　　　　　労働力不足に対応するための省力化機械の導入や農業ＩＣＴ技術の導入により労働力やコスト低減を行い、生産性の向上を図る必要がある。

　　　【施策の方向性】

　　　　　生産性向上に資する機械導入や施設整備は効果的であるが、補助事業の活用や資金借り入れに伴う利子補給等により初期投資に係る負担の軽減を行うことは重要。

　　（２）課題　国際情勢への対応

　　　【理由】

　　　　　ＴＰＰ等により農畜産物の生産量や価格の下落が懸念されるほか、ブランド力強化等による農業所得の向上、確保が必要となっている。

　　　【施策の方向性】

　　　　　ブランド力強化や高収益作物の導入により農業競争力を強化し、国際情勢の変化に対応可能な経営体質の強化を図る必要がある。

　　（３）課題　経営支援体制の強化

　　　【理由】

　　　　　経営改善、事業承継、規模拡大など農業経営に関する課題は多岐にわたっている。加えて、畑作、野菜経営の選択や高収益作物の導入、ＩＣＴ農業の実践などこれまでの経験だけでは対応が難しい課題があり、こうした経営全般に対する支援体制の強化が求められている。

　　　【施策の方向性】

　　　　　国が設置した農業経営に関する相談に関するワンストップ窓口である「農業経営相談所」は存在するが、町内農家にとって身近なものではない。基本的にはＪＡ担当窓口等で相談を行っているが、新たな課題に対応するため、必要な支援体制について検討する必要がある。

**検討項目２　畜産、酪農経営の支援（補助事業、利子補給、国際情勢への対応など）**

　現　状

　　○ＴＰＰ等による国際情勢の変化、高齢化等による労働力不足・担い手の確保、飼料コストの低減、家畜ふん尿処理施設の整備など畜産、酪農経営を取り巻く課題は多く、対応策の検討が必要となっている。

　課題等

　　（１）課題　国等の補助事業の活用、資金借り入れに伴う利子補給等支援の検討

　　　【理由】

　　　　　労働力不足に対応するための省力化機械の導入や乳牛の家畜ふん尿処理の課題を解決し、飼養頭数や乳量の増加等による所得額の増加、生産性の向上を図る必要がある。

　　　【施策の方向性】

　　　　　生産性向上に資する機械導入や施設整備は効果的であるが、補助事業の活用や資金借り入れに伴う利子補給等により初期投資に係る負担の軽減を行うことは重要。

　　（２）課題　国際情勢への対応

　　　【理由】

　　　　　ＴＰＰ等により農畜産物の生産量や価格の下落が懸念されるほか、中小規模の畜産農家支援など畜産・酪農の経営基盤支援等により、農業所得の向上、確保が必要となっている。

　　　【施策の方向性】

　　　　　ブランド力強化やコスト低減により農業競争力を強化し、国際情勢の変化に対応可能な経営体質の強化を図る必要がある。

　　（３）課題　経営支援体制の強化

　　　【理由】

　　　　　経営改善、事業承継、規模拡大など農業経営に関する課題は多岐にわたっている。加えて、法人化やＩＣＴ農業の実践などこれまでの経験だけでは対応が難しい課題があり、こうした経営全般に対する支援体制の強化が求められている。

　　　【施策の方向性】

　　　　　国が設置した農業経営に関する相談に関するワンストップ窓口である「農業経営相談所」は存在するが、町内農家にとって身近なものではない。基本的にはＪＡ担当窓口等で相談を行っているが、新たな課題に対応するため、必要な支援体制について検討する必要がある。